墨田工科高等学校
 令和7年度
 教科
 工業(自動車)
 科目
 自動車整備

 教科: 工業(自動車)
 科目: 自動車整備
 単位数: 2
 単位数: 2
 単位数: 2

 対象学年組:第 3 学年 2 組~
 組

教科担当者:

使用教科書: (自動車整備(実教出版))

教科 工業(自動車)

【知 識 及 び 技 能 】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度

科目 自動車整備 の目標:

【知識及び技能】			
現代社会における工業の意義や役割を理解する け、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決 意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身につとともに、安全に配慮し、自動車整備を合理的 する能力を身につける。 ける。	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
に計画し、その技術を週切に活用できる。	現代社会における工業の意義や役割を理解する	け、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決	意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身につ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第4章 動力伝達装置の整備 ・クラッチの構造や整備について理解させる。 ・トランスミッションの構造や整備について理解させる。 ・ファイナルギー装置とドライブシャフトの構造や整備について理解させる。 ・ファイナルギー装置とドライブシャフトの構造や整備について理解させる。	3節 プロペラシャフトとユニバー サルジョイントの整備	知識・技能 日動車の動力伝達装置の構造・機能・性能および整備について基本的な知識や整備技術を穿につける。整備を行うことにもる環境をの言義や気料を理解できる。また、安全に配慮し、実際に活用できる技術を身につける。 日思・ 田老・ 共和 日	0	0	0	8
	定期考査	中間考査		0	0		1
1学期		置の整備 1節 ステアリング装置の整備 2節 車軸と懸架装置の整備 3節 車輪の整備	知識・技能] 自動車のステアリング装置と懸架装置の構造・機能・性能 および整備について基本的な知識や整備技術を身につけ る。整備を行うことによる環境保全の意義や役割を関係で きる。また、安全に配慮し、実際に活用できる技術を身に 、現実際に活用できる技術を身に 、現実を 、現実を 、関係についての構造と整備に関し課題を見つけ、自ら思考・ 判断し、制度工夫して課題解決する能力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度。 、現実を 、現実を 、現まで 、現まで 、現まで 、また、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	0	0	0	8
	第6章 ブレーキ装置の整備 ・ブレーキ装置の構造や整備について理解 させる。	第6章 ブレーキ装置の整備 1節 ブレーキ装置の整備	【知識・技能】 自動車のブレーキ装置の構造・機能・性能および整備についならびに削動力の測定方法について基本的な知識を整備 技術を身につける、整備を行うことによる環境保全の意義 や役割を理解できる。また、安全に配慮し、実際に活用できる技術を身につける。 1 世考・判断・夫現】 ブレーキ装置の構造・機能・性能および整備についての構造と整備についてに関し課題を見つけ、自ら思考・判断 法と整備についてに関し課題を見つけ、自ら思考・判断 し、創意工夫とて課題解決する能力を身につける。 1 主体的に学習に取り組む態度 ブレーキ装置の構造・機能・性能および整備技術などについて意術的に探するとともに、学ぶ態度を身につける。	0	0	0	6
	定期考査	期末考査		0	0		1
2 学期	第6章 ブレーキ装置の整備 ・制動力の測定方法について理解させる。	第6章 ブレーキ装置の整備 2節 制動力の測定	上に同じ	0	0	0	4
	第7章 電気装置の整備 ・バッテリの構造や整備について理解させる。 ・ 始動装置の構造や整備について理解させる。 ・ 発電装置の構造や整備について理解させる。 ・ その他の電気装置の構造や整備について理解させる。	のなな、マシー研り出りの一部が出	「知識・技能」 目動車の電気装蔵の構造・機能・性能および整備について 基本的な知識や警備技術を身につける、整備を行うことに よる環境保全の整準や役割を用解できる。また、安全に配 慮し、実際に活用できる技術を身につける。 [思考・判断・表現] 自動車の電気装置の構造・機能・性能および整備について の構造と整備に関、理題を見いけ、自ら思考・判断し、創 置工夫して課題解除する能力を身につける。 [生体的に学型に取り組む機度] 電気装置の構造・機能・性能および整備について 整数的に複形すると対に、学送順を身化にける。	0	0	0	10
	定期考査	中間考査	ENBARTISTS 71. F & C. C. T. IS +23 95(g 25.5) IS. 217 M.	0	0		1
	第8章 ボデーの整備 ・外販と車体の構造や整備について理解させる。 ・塗装について理解させる。	第8章 ボデーの整備 1節 外販と車体の整備 2節 塗装	「知識・技能」 自動車の外版と車体の構造・機能・性能および整備について基本的な知識・整備技術を身につける。整備を行うことによる環境保全の意義や役割を理解できる。また、安全に配慮し、実際に用できる技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自動車の外版と車体の構造・機能・性能および整備についての構造と整備に関し課題を見つけ、自ら思考・判断し、 記主人して課題解決する能力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度と、 手体的に学習に取り組む態度、 外版と車体の構造・機能・性能および整備技術などについて資飲的に要求するとともに、学ぶ順なを身につける。	0	0	0	10
	定期考査	期末考査	Tarana characteristics	0	0		1
3学期	第9章 自動車の潤滑 ・摩擦と潤滑について理解させる。 ・潤滑曲の種類や働きについて理解させる。 ・整備時において潤滑の箇所や時期について理解させる。 ・給油整備に利用する給油脂機の使用方法などについて理解させる。	第9章 自動車の潤滑 1節 摩擦と潤滑 2節 潤滑油 3節 グリース 4節 潤滑の箇所と時期 5節 給油脂機器	日期職・技能] 目期車の摩線と潤滑について基本的な知識や整備技術を身 につける。整備を行うことによる環境保全の意義や役割を 理解できる。また、安全に配慮し、実際に活用できる技術 を身につける。 「思考・判断・夫現」 日動車の摩線と潤滑についての構造と整備に関し護題を見 つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力 を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩線と潤滑に関し整備技術などについて意欲的に探究する とともに、学予能腹を身につける。	0	0	0	10
	・自動車の性能試験の内容や試験手順について理解させる。 ・自動車の操作性・安全性試験の内容や試験 手順について理解させる。 ・自動車の乗り心地性能試験の内容や試験 手順について理解させる。	3節 操作性・安全性試験 4節 乗り心地性能試験	知識・技能 自動車のとよるまな性能試験の内容について、ならびに対 勢方法について基本的な知識や整般技術を身につける、整 場方でうことによる環境保全の意義や役割を理解できる。 また、安全に配慮し、実際に活所できる技術を身につける。 18第一年、大学・判断・表現1 自動車のとまるまな性能試験の内容について、ならびに対 勢方法について課題を見つけ、自ら思考・判断し、創意工 大して課題解決する動力を身につける。 目主体的に学習に取り組む地であります。 自動車のさまるまな性能試験の内容について、ならびに試 数方法について電観を見つけ、自ら思考・判断し、創意工 大して課題解決する情報を表するとして、「学系態度を身 報方法について、意識的に探えずるとともに、学系態度を身 線方法について、意識的に探えずるとともに、学系態度を身	0	0	0	9
	定期考查	学年末考查		0	0		1 合計 70